平成19年度化学物質の排出量・移動量の集計結果 (平成20年度届出分)

平成21年4月

三重県環境森林部地球温暖化対策室

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進に関する法律(PRTR 法)に基づき届出・推計された平成19年度の三重県内の化学物質(人の健康や動植物の生息・育成に支障を及ぼすおそれ等がある354種類の第一種指定化学物質)の排出量・移動量を集計しました。

1. 概要

	平成1 9年度 平成18 年度 6 前年度差						
排出量	移動量の合計	21,984トン	19,783トン	2,201トン			
	排出量	12,228トン	12,908トン	- 680トン			
	届出対象の事業所からの排出	7 , 177トン	7,508トン	- 331トン			
	量 1	(59%)	(58%)				
排 出	届出対象外の事業所からの排 出量 2	1 , 844トン	1,802トン	42トン			
畳		(15%)	(14%)				
၅	家庭からの排出量 3	951トン	1,030トン	- 79トン			
	参佐がらの4H田 <u></u>	(8%)	(8%)				
"`	移動体からの排出量 4	2,256トン	2,568トン	- 312トン			
		(18%)	(20%)				
移動	1量 5(届出対象の事業所のみ)	9 , 756トン	6,875トン	2,881トン			
1	及び 5の届出事業所数	845事業所	837事業所	8事業所			

1 及び 5: PRTR 法に基づく届出値

2~ 4:国による推計値

6:平成19年度に修正があったものを反映した値

平成19年度の状況を平成18年度と比較すると、届出対象であった事業所数は、8増加 し845事業所でした。

届出対象事業所からの排出量は前年度と比べて331トン減少し、移動量は2,881トン増加しました。

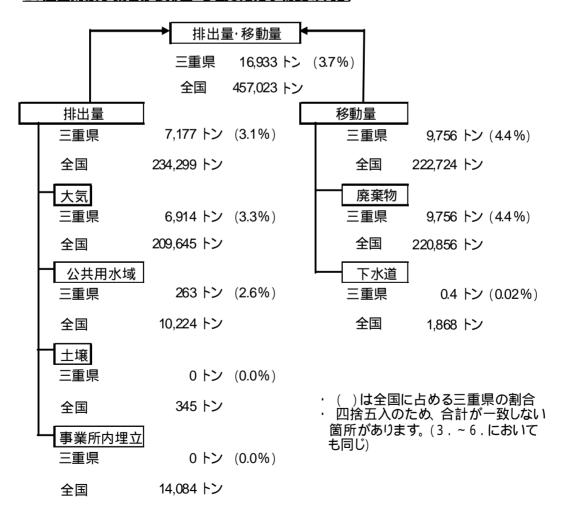
届出対象外では、移動体からの排出量が前年度と比べて312トン減少しましたが、事業所からの排出量は42トン増加し、家庭からの排出量は79トン減少しました。

届出対象事業所及び届出対象外の合計排出量は前年度と比べて680トン減少しました。 以上のことから排出量は全体として、毎年減少しておりますが、移動量は廃棄物として排 出される為、製造量の多少により増減されます。

(参考)

- 1 届出対象の事業所からの排出量・・・・PRTR 法で届出が義務付けられている事業所 (製造業等23業種に該当し、従業員数が21人以上、化学物質を年間1トン以上(特 定第一種指定化学物質にあっては0.5トン以上)取り扱う事業所又は、焼却炉等の特 定の施設を有している事業所)からの排出量。排出量は、大気、公共用水域、土壌、 事業所内埋め立ての4区分がある。
- 2 届出対象外の事業所からの排出量・・・・PRTR 法の届出対象事業所以外の事業所からの排出量。
- 3 家庭からの排出量・・・ 一般家庭における殺虫剤、洗剤などの家庭用製品の使用に伴う排出量。
- 4 移動体からの排出量 ・・・ 自動車、二輪車、船舶、鉄道車両、航空機等交通機関から の排出量。
- 5 移動量・・・ 廃棄物の処理を事業所の外で行うなどで移動する量のことで、廃棄物、 下水道の2区分がある。

2. 届出対象事業者から排出・移動した化学物質の内訳



3. 届出対象事業所から排出・移動した主な化学物質

(1)大気への排出量

順位	物質名	排出量(トン)	主な用途
1	トルエン		 化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
<u>'</u>	17013	3,540	16子1の貝の水が、川江土が1779年月9名との石戸
2	キシレン	1,493	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
3	ジクロロメタン (別名:塩化メチレン)	772	金属部品の脱脂 各種溶剤
4	エチルベンゼン	493	スチレンの原料 油性塗料、接着剤などの溶剤中の一成分
5	スチレン	316	合成樹脂や合成樹脂塗料の原料
	その他	496	
	合計	6,914	

(2)公共用水域への排出量

	物質名	排出量(トン)	主な用途
1	ふっ化水素及びその 水溶性塩	108	代替フロン、ふっ素樹脂の原料 ガラスや金属の表面加工
2	マンガン及びその化合物	66	合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤 【二酸化マンガン】乾電池や酸化剤 【過マンガン酸カリウム】飲料水の処理
3	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	31	合成界面活性剤(業務用)、化粧品の乳化剤
4	亜鉛の水溶性化合物	13	【塩化亜鉛】活性炭、染料や農薬の製造過程で使用、乾電池の電解液 【硫酸亜鉛】レーヨンの製造過程で使用、点眼液
5	ほう素及びその化合物	10	ガラス繊維の原料 【ほう酸、ほう酸ナトリウム】害虫駆除剤、洗濯用漂白剤
	その他	35	
	合計	263	

(3)事業所外への廃棄物としての移動量

順位	物質名	排出量	主な用途
州天口工	1092 11	(トン)	1.6/102
1	マンガン及びその化合物	1,935	合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤 【二酸化マンガン】乾電池や酸化剤 【過マンガン酸カリウム】飲料水の処理
2	トルエン	1,130	化学物質の原料、油性塗料や接着剤などの溶剤
3	五酸化バナジウム	1,102	 触媒、特殊鋼、合成原料(バナジウム化合物)
4	N , N - ジメチルホル ムアミド	740	溶剤(合成繊維、合成皮革、医薬品、色素用)、試薬 (ホルミル化剤)、ガス吸収剤
5	2 - アミノエタノール	716	添加剤(洗剤、界面活性剤、化粧品、潤滑剤)、溶剤、洗浄剤、繊維柔軟剤)、化学物質の原料
	その他	4,132	
	合計	9,756	

4. 家庭・移動体から排出された主な化学物質

全国の家庭から排出された対象化学物質は 4.6 , 5.1.0 トンであり、三重県は全国の 2.05%を占めています。

(1) 家庭

順位	物質名	排出量(トン)	主な用途
1	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	341	合成界面活性剤(家庭の台所用・洗濯)
2	p - ジクロロベンゼン	257	衣類の防虫剤 トイレの消臭剤
3	直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩	222	合成洗剤の主成分(LAS)
4	2-アミノエタノール	19	洗剤や化粧品などのpH調整剤
5	N,N - ジメチルドデシル アミン = N-オキシド	17	台所用洗剤の成分
	その他	95	
	合 計	951	

(2) 移動体

順位	物質名	排出量(トン)	主な排出原因		
1	トルエン	870			
2	キシレン	519			
3	ベンゼン	240	ガソリン等の燃焼		
4	ホルムアルデヒド	207			
5	エチルベンゼン	141			
	その他	278			
	合 計	2,256			

全国の移動体から排出された化学物質は99,282トンであり、三重県は全国の 2.3% を占めています。

5 . 市町別化学物質の排出・移動量(届出対象事業所)

(市町は、平成19年4月1日現在の行政区分で集計しています。)

(1)大気への排出量

順位	平成1	9年度	平成18年度	
川共1立	市町名	排出量(トン)	市町名	排出量(トン)
1	四日市市	1,661	西日市市	1,859
2	津市	1,111	名張市	992
3	鈴鹿市	839	津市	957
4	名張市	830	伊賀市	892
5	伊賀市	817	鈴鹿市	882
	その他	1,652	その他	1,670
	合計	6,914	合計	7,250

(2)公共用水域への排出量

(=) == (= (= (= (= (= (= (= (= (
順位	平成1	9年度	平成18年度		
川只江	市町名	排出量(トン)	市町名	排出量(トン)	
1	四日市市	237	四日市市	230	
2	いなべ市	6	桑名市	7	
3	津市	6	いなべ市	6	
4	桑名市	6	津市	6	
5	鈴鹿市	3	鈴鹿市	3	
	その他	4	その他	4	
	合計	263	合計	257	

(3) 廃棄物としての移動量

順位	平成1	9 年度	平成18年度	
川只江	市町名	移動量(トン)	市町名	移動量(トン)
1	四日市市	7,190	市市日四	4,589
2	亀山市	705	伊賀市	525
3	伊賀市	572	亀山市	452
4	名張市	307	名張市	258
5	津市	295	津市	257
	その他	686	その他	792
	合計	9,756	合計	6,874

6 . 特定第一種指定化学物質(発がん性のある 12 物質)の排出量・移動量(届出対象事業所)

を持ち	排出量	移動量(kg)			
物質名	大気	公共用水域	廃棄物		
石綿	0	0	6,250		
エチレンオキシド	7,970	180	9,120		
カドミウム及びその化合物	0	18	0		
六価クロム化合物	3	162	4,799		
塩化ビニル	22,500	3,300	18,000		
ニッケル化合物	13	1,286	41,807		
砒素及びその無機化合物	5	22	28,450		
ベリリウム及びその化合物	0	0	0		
ベンジリジン = トリクロリド	0	0	0		
ベンゼン	10,677	94	78		
メトキサレン	0	0	0		
合計(平成19年度)	41,168	5,061	108,504		
参考: 合計(平成18年度)	38,274	5,118	119,427		

物質名	排出量(m	移動量(mg-TEQ)	
初貝口	大気	公共用水域	廃棄物
ダイオキシン類	3,548	5	14,038
参考: 平成18年度	2,835	10	19,405

ダイオキシン類の単位は、mg-TEQ です。なお、TEQ は毒性当量を示します。

(参考情報)

環境省ホームページ「PRTR インフォメーション広場」: PRTR 法の届出方法から集計 結果まで PRTR に関わる情報が掲載されています。

http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html

環境省ホームページ「リスクコミュニケーションの推進」: 化学物質や環境リスクについての情報が掲載されています。

http://www.env.go.jp/chemi/communication/index.html